



ベンチ

ハンス・ペーター・リヒター

上田 真而子 訳

目標と
振り返り

□ 本や文章から必要な知識や情報を集めたり、それらを活用したりするための方法を身につける。

町のまん中で、不意に、フリードリヒが現れた。

「君、時間ある？ 話したいことがあるんだ。

お父さんにはわかってもらえないし、聞いてもくれない。だけど、誰かに聞いてもらわないと、僕、もう我慢ができないんだ。な、長くはかからないから！」——僕の返事を待ちもしないで、フリードリヒは並んで歩きだした。

「四週間ほど前だよ、事の起こりは。知り合いの人の世話で、郊外のあるところへ、スパゲツ

ティを一ポンド*、もらいに行ったんだ。

あの古い教会を通り過ぎて、並木道に沿って市電が左に曲がっていくところ、あの道を歩いていった。あの並木は菩提樹だよな。ちょうど花が咲いていたので、ものすごくいい匂いだった。

もうあの赤いれんが造りの家まで来ていたな。通りのことは全然気にかけないで、うつむいて、ただ爪先ばかり見つめて歩いてた。そしたら、突然、僕の前を女の子が歩いているのが目に入っ

てきたんだ。

とつても小さな足なんだよ。僕はそのまま、
ずっと、彼女の後ろを歩いていった。彼女の足の
運び方、そして提げている重そうな網になった
袋を、じっと眺めながら歩いていった。

袋の中身は、りんごだった。しわしわになる種
類のやつさ。一つ欲しくてしよすがなかった。一
つ落ちないかな、落ちたらさつとかすめ取ってや
るんだけどな、って思ってたんだ。そうしたら、
僕が思ったとおりに、バリツと袋が裂けて、中の
宝物が全部道いっばいに転がってしまったのさ。

女の子は振り返ったと思うと、両手を口の前で
合わせて、『まあ、だめな袋！ やっぱり戦時中
の物だわ。』って言った。

僕はりんごを拾い集めるのを手伝ってあげた。
一緒に網の袋の中へ入れたんだけど、その袋とき

15

10

5

たら、だめなんだ。どうしようもないんで、とうと
う、彼女の家まで一緒に提げて行ってあげたんだ。
ヘルガって名前だった。お父さんは兵隊でね。
彼女は幼稚園で働いているんだ。休みの日に田舎
に行って、自分で編んだ鍋つかみと交換に、りん
ごをもらっての帰り道だったのさ。

家の玄関までゆくと、彼女は感じのいい顔で僕
をじっと見つめて、『どうもありがとう！ さよ
なら！』って言った。そして、りんごを一つくれ
た。でもそのりんご、僕は食べないで、今もまだ
とつてあるんだ——思い出にね。

僕は太急ぎで知り合いの家に行つてスパゲッ
ティを受け取ると、帰り道、その幼稚園に寄って、
いつも夕方の何時頃に終わるのか尋ねた。

*ポンド P.56下1

ヤード・ポンド法の重さの単位。一ポンドは、約四五三グラム。

それから、僕は毎日夕方になるとその幼稚園に行って、立って待っていた。ヘルガが出てくると、ヘルガの目につくように、すつと歩き始めた。そして彼女が僕の方を見るのを待って、挨拶あいさつした。初め、彼女はびっくりした。びっくりして目をぱつと開くと、もっときれいになるんだ！ 夜、僕はもう、ヘルガの夢ばかり見た。

一週間たつと、毎晩、彼女の家まで送っていくようになったんだ。あのうれしかった気持ち、君には説明できないな！ 僕たちは、話はあまりしなかった。ただ並んで歩いていられるだけで、よかったんだ。ときどき、ヘルガが横から僕の顔をじつと見ていた。……

だけどき、ヘルガは僕がフリードリヒ・シユナイダーという名前だということしか知らなかったんだよな。それ以外のことは、なんにも知らな

かった。僕も話せなかった。話したら、もう会えなくなるもの。

前の前の日曜日、僕たちは初めて約束して一緒に出かけた。町の公園で出会う約束だった。お父さんは、僕が夕方になると決まって用があるといつて出かけるので、おかしいと思ってたんだな。それで僕がおしゃれをして出かけようとするのを見ると、首を振ってね、『フリードリヒ、よく考えてみなくちゃだめだぞ！』って言った。でも、それだけだった。あとは黙だまったままじつと僕を見て、そして顔をそむけてしまった。僕はやっぱり出かけた。

いいお天気だったな。バラがもう咲き始めていてね。町の公園には、人はほとんど来ていなかった。乳母車うぼを押おしたお母さんが二、三人いただけだった。ヘルガはえんじ色のワンピースを着てきた――

それに、黒い髪、灰色の目。僕は彼女を見ると、正直のところ、胸がどきどきした。

僕はヘルガに小さい詩集を持っていった。ヘルガはとつても喜んでくれて、恥ずかしいくらいだった。

僕たちは公園の中を散歩した。ヘルガは詩を口ずさんだ。たくさん知ってるんだ。

僕はできるだけ人に出会わないよう、横道をよく歩いて。しばらくすると、ヘルガが腰を下ろしたいと言いだしたんだ。

僕はどうすればいいのかわからなかった。だめだって言うわけにはいかないし、うまい言い訳も見つからないでいるうちに、緑のベンチのところに来てしまった。ヘルガはすぐ腰をかけた。

僕はそのベンチの前に立ったまま、足を踏みかえたりして、もじもじしていた。腰を下ろす勇氣

はなかったからな。誰か通りかかったら大変なので、そわそわ辺りを見回していたんだ。

『どうしておかけにならないの？』ってヘルガがきいたけど、言い訳も思いつかなかった。『おかけなさいよ！』と言われて、僕は本当に腰を下ろしてしまった。

でも、気が気じゃなかった。知ってる人が通りかかりでもしたら、と思ってるね。だから、もぞもぞしてたんだな。

ヘルガはそれに気がついた。そしてハンドバッグから小さいチョコレートを出して割ると、僕に

*緑のベンチ P.59上13

ナチスドイツの最も犯罪的な行為は、ユダヤ人に対する人種差別政策である。ユダヤ系新聞の街頭販売禁止、商店や手工業の営業停止、音楽会や展覧会の入場禁止など、さまざまな制限が加えられ、それに従わない者は収容所へ送られるなどの厳しい罰を受けた。この制限は公園のベンチの使用にも及び、ユダヤ人は、専用の黄色のベンチにしか座ることを許されなかった。

15

10

5

くれた。

いつからチョコレートを食べてなかったことか。だけど、おいしいとは思わなかった。うわのそらだったから。お礼を言うのさえ忘れていた。

ヘルガは詩集を膝ひざの上に載のせていたんだけど、それは読まなくて、僕をじつと見つめていた。そしてときどき、なんか尋ねた。

なんて答えたのか、覚えていない。ただもう緑のベンチが恐ろしく、他のことは何も考えられなかった。

急に、ヘルガが立ち上がった。そして僕の腕うでに手をかけると、引っぱっていった。

いくらも行かないうちに、黄色のベンチのところに来た。《ユダヤ人専用》って書いてあるベンチさ。ヘルガはそのベンチの前に立ち止まると、僕に

きいたんだ。『このほうが落ち着いてかけてい

らっしゃれるの?』って。

僕はぎくりとした。『どうしてわかったんだい?』

すると、ヘルガは、その黄色いベンチに腰を下ろしたんだ! そして、『そう思ったの!』と言った。なんでもないことのように、さらりと言ったんだ!

だけど、彼女と一緒にユダヤ人用のベンチすわに座ることなどできやしないだろ。僕は慌あわててヘルガを引っぱって立たせると、家に送っていった。

せつかくの日曜日だったのに! 残念で残念で、大声をあげて泣きたかった。そのまま腕を組んで散歩を続けて、話し合うこともできたのかもしれないけど、僕はもうすっかり気が転倒てんととうしてしまっていたんだ。

ところが、家に送ってゆく間中じゅう、ヘルガは、

ユダヤ人と一緒に遊びに出かけたことなどなんでもないというふうにするまってくれるんだよ。自分の家のことや、幼稚園の子どものことや、休暇のことなんか話してね。僕の手を取って、しっかり握りしめて、だよ。

家の前まで来ると、ヘルガは立ち止まった。そして、長いこと、じっと僕を見つめた。それからこう言ったんだ。『来週の日曜日も一緒にどこかへ行きましょう。町の公園じゃなくて、郊外の森に行きましょうよ。そうすれば、黄色いベンチなんてないわよ!』って。

僕は、彼女に思いとどませようとしたんだけど、半分も聞かないで、さっと家の中に入ってしまっただ。

そのあと、夕方から夜中まで、僕は町中をさまよい歩いた。家に帰った時は、外出禁止時間をだ

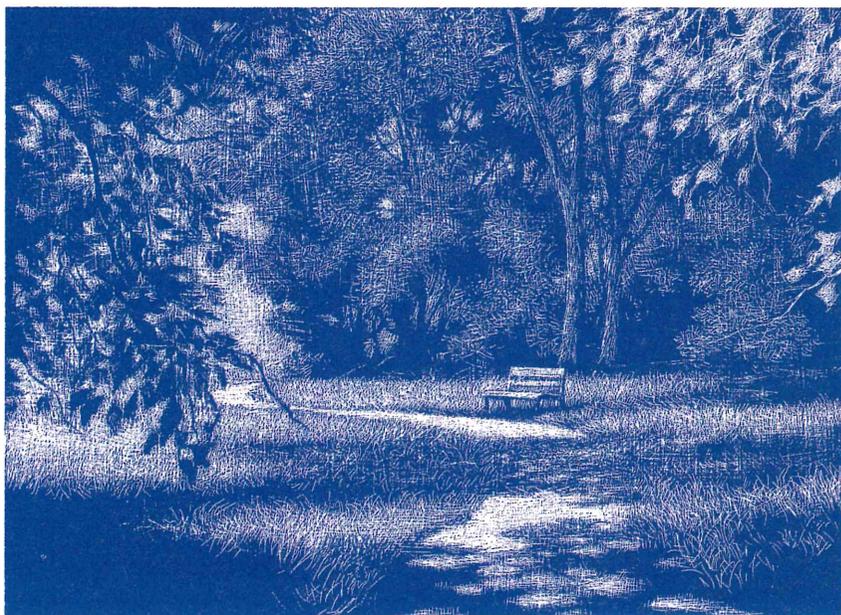
15

10

5

*外出禁止時間 P 61 上 16

一九三九年に第二次世界大戦が勃発すると、ドイツは、国内のユダヤ人に、夏は二十一時以後、冬は二十時以後の外出を禁止した。『ベンチ』に描かれているのは、翌一九四〇年のできごとである。



いぶ過ぎていた。誰にも見つからなくて、引っぱっていかれなくてよかったよ。だけど、お父さんには、ひどく叱しかられた。

それから一週間、僕は行こうか行くまいか、ずいぶん迷った。でも、日曜日、やっぱり行かなかった。行けないじゃないか！ 僕と一緒にいるところを見つかったら、彼女は収容所行きなんだもの！』



ハンス・ペーター・リヒター

「一九二五—一九九三」ドイツの児童文学者。

作品に『ぼくたちもそこにいた』『若い兵士のとき』などがある。

5



上田 真而子 「一九三〇—二〇一七」

和歌山県に生まれた。翻訳家。

訳書にヘルトリング作『ヒルベルという子がいた』、エンデ作『はてしない物語』など、著書に『おばけさんとのやくそく』『幼い日への旅』がある。

『出典』『あのころはフリードリヒがいた』によった。



アウシュビッツ強制収容所へと延びる線路。

千 みちしるべ

本の帯やポップを作り、本を薦めよう

書店で売られている本には、よく帯がついていて、本の内容を伝えたり、宣伝をしたりしています。また、書店や図書館では、ポップによる本の紹介もよく見えます。

皆さんも、手作りのよさを生かして、クラスや図書館で、お薦めの本に帯やポップをつけて、棚に飾ってみましょう。

その際、作品の一節を引用すると効果的です。あなたが帯やポップに引用した言葉が、それを見た人にとって、本との新しい出会いのきっかけになるかもしれません。

どの部分を引用するかを考えることは、自分がその作品をどのように読み、解釈したのかを表現することにもつながります。取り上げた箇所をお互いに比べてみることで、自分の考えが広がり、新たな発見をすることもできるでしょう。

お薦めの本の魅力や、心に残った言葉などを書き出す。

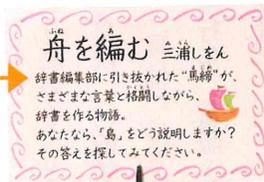


短い言葉は宣伝文に、長い言葉や文は説明に使うことを考え、それぞれいくつか作ってみる。



- ・色なども考えて用紙を決める。
- ・縦書きか横書きか斜め書きか、それらを混在させるか。
- ・また、書体や色、イラストの大きさや置き方を考える。

ポップの場合は、本と離れて置かれることも考え、書名と著作者名を書く。





図書館での展示の例（東京都 荒川区立ゆいの森あらかわ）

本の情報を取り出す入り口

一冊の本には、本文以外にもさまざまな本の情報が載っています。こうした情報を手がかりにすると、作品への理解をより深めることができます。

○目次 ○前書き・後書き ○注 ○奥付おくづけ

「奥付」は本の最後にあり、書名、著者名、発行所名、発行年、重版された回数など出版に関する情報も書かれています。

ベンチ ○○文庫

2025年 6月 2日 第1刷

2025年 12月 19日 第2刷

作者 ハンス＝ペーター＝リヒター

訳者 上田真而子

発行所 ○○書店

印刷 ○○印刷

製本 ○○製本所

ISBN○○○-○-○○○-○○○○○-○

N.D.C.○○○ 20p. 14.8cm



引用とは

自分の書いた文章に、他の本や文章の一節や文、語句などをそのまま抜き出して使うことを「引用」といいます。引用するものとなる本などを「出典」といいます。「出典」を明らかにすることで、自分の発信する情報が確かになります。また、受け手にとっても、情報を確かめる手がかりになります。本を出典とする場合は、「奥付」を活用しましょう。

引用する場合に気をつけること

- ・引用した部分は、かぎ（「」）でくくるなどして、自分が書く文章と区別がつくように示します。
- ・引用した部分は、内容や表現、書き表し方を変えず、そのまま正確に抜き出します。
- ・奥付を確かめ、著作者名や発行所名、発行年など、「出典」の情報を明示します。
- ・文だけでなく、図表やグラフ、絵や写真などを引用する場合も同様です。
- ・インターネットのホームページから引用する場合は、ページの名前やアドレス、そのページを見た日を書きます。インターネットの情報は、短期間でも変わる場合があるからです。

この教材で学ぶ漢字

| | | | | | | | | | | | |
|----|---|-----|-----|----|---|-----|------|----|---|----|----|
| 57 | 裂 | レツ | 裂け目 | 57 | 眺 | チヨウ | 眺望 | 56 | 僕 | ボク | 僕ら |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 爪 | ツメ | 爪切り | 56 | 勾 | カウ | 郊外 |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 突 | ツツ | 突進 | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 爪 | ツメ | 爪先 | 56 | 郊 | コウ | 郊外 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 勾 | カウ | 花の匂い | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 突 | ツツ | 突き出す | 56 | 僕 | ボク | 僕ら |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 爪 | ツメ | 爪切り | 56 | 勾 | カウ | 郊外 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 突 | ツツ | 突進 | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 爪 | ツメ | 爪先 | 56 | 郊 | コウ | 郊外 |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 勾 | カウ | 花の匂い | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 突 | ツツ | 突き出す | 56 | 僕 | ボク | 僕ら |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 爪 | ツメ | 爪切り | 56 | 勾 | カウ | 郊外 |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 突 | ツツ | 突進 | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 爪 | ツメ | 爪先 | 56 | 郊 | コウ | 郊外 |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 勾 | カウ | 花の匂い | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 突 | ツツ | 突き出す | 56 | 僕 | ボク | 僕ら |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 爪 | ツメ | 爪切り | 56 | 勾 | カウ | 郊外 |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 突 | ツツ | 突進 | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 爪 | ツメ | 爪先 | 56 | 郊 | コウ | 郊外 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 勾 | カウ | 花の匂い | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 突 | ツツ | 突き出す | 56 | 僕 | ボク | 僕ら |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 爪 | ツメ | 爪切り | 56 | 勾 | カウ | 郊外 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 突 | ツツ | 突進 | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 爪 | ツメ | 爪先 | 56 | 郊 | コウ | 郊外 |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 勾 | カウ | 花の匂い | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 突 | ツツ | 突き出す | 56 | 僕 | ボク | 僕ら |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 爪 | ツメ | 爪切り | 56 | 勾 | カウ | 郊外 |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 突 | ツツ | 突進 | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 爪 | ツメ | 爪先 | 56 | 郊 | コウ | 郊外 |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 勾 | カウ | 花の匂い | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 突 | ツツ | 突き出す | 56 | 僕 | ボク | 僕ら |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 爪 | ツメ | 爪切り | 56 | 勾 | カウ | 郊外 |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 突 | ツツ | 突進 | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 爪 | ツメ | 爪先 | 56 | 郊 | コウ | 郊外 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 勾 | カウ | 花の匂い | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 突 | ツツ | 突き出す | 56 | 僕 | ボク | 僕ら |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 爪 | ツメ | 爪切り | 56 | 勾 | カウ | 郊外 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 突 | ツツ | 突進 | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 爪 | ツメ | 爪先 | 56 | 郊 | コウ | 郊外 |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 勾 | カウ | 花の匂い | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 突 | ツツ | 突き出す | 56 | 僕 | ボク | 僕ら |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 爪 | ツメ | 爪切り | 56 | 勾 | カウ | 郊外 |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 突 | ツツ | 突進 | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 爪 | ツメ | 爪先 | 56 | 郊 | コウ | 郊外 |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 勾 | カウ | 花の匂い | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 突 | ツツ | 突き出す | 56 | 僕 | ボク | 僕ら |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 爪 | ツメ | 爪切り | 56 | 勾 | カウ | 郊外 |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 突 | ツツ | 突進 | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 爪 | ツメ | 爪先 | 56 | 郊 | コウ | 郊外 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 勾 | カウ | 花の匂い | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 突 | ツツ | 突き出す | 56 | 僕 | ボク | 僕ら |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 爪 | ツメ | 爪切り | 56 | 勾 | カウ | 郊外 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 突 | ツツ | 突進 | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 爪 | ツメ | 爪先 | 56 | 郊 | コウ | 郊外 |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 勾 | カウ | 花の匂い | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 突 | ツツ | 突き出す | 56 | 僕 | ボク | 僕ら |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 爪 | ツメ | 爪切り | 56 | 勾 | カウ | 郊外 |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 突 | ツツ | 突進 | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 爪 | ツメ | 爪先 | 56 | 郊 | コウ | 郊外 |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 勾 | カウ | 花の匂い | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 突 | ツツ | 突き出す | 56 | 僕 | ボク | 僕ら |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 爪 | ツメ | 爪切り | 56 | 勾 | カウ | 郊外 |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 突 | ツツ | 突進 | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 爪 | ツメ | 爪先 | 56 | 郊 | コウ | 郊外 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 勾 | カウ | 花の匂い | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 突 | ツツ | 突き出す | 56 | 僕 | ボク | 僕ら |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 爪 | ツメ | 爪切り | 56 | 勾 | カウ | 郊外 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 突 | ツツ | 突進 | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 爪 | ツメ | 爪先 | 56 | 郊 | コウ | 郊外 |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 勾 | カウ | 花の匂い | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 突 | ツツ | 突き出す | 56 | 僕 | ボク | 僕ら |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 爪 | ツメ | 爪切り | 56 | 勾 | カウ | 郊外 |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 突 | ツツ | 突進 | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 爪 | ツメ | 爪先 | 56 | 郊 | コウ | 郊外 |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 勾 | カウ | 花の匂い | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 突 | ツツ | 突き出す | 56 | 僕 | ボク | 僕ら |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 爪 | ツメ | 爪切り | 56 | 勾 | カウ | 郊外 |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 突 | ツツ | 突進 | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 爪 | ツメ | 爪先 | 56 | 郊 | コウ | 郊外 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 勾 | カウ | 花の匂い | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 突 | ツツ | 突き出す | 56 | 僕 | ボク | 僕ら |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 爪 | ツメ | 爪切り | 56 | 勾 | カウ | 郊外 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 突 | ツツ | 突進 | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 爪 | ツメ | 爪先 | 56 | 郊 | コウ | 郊外 |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 勾 | カウ | 花の匂い | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 突 | ツツ | 突き出す | 56 | 僕 | ボク | 僕ら |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 爪 | ツメ | 爪切り | 56 | 勾 | カウ | 郊外 |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 突 | ツツ | 突進 | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 爪 | ツメ | 爪先 | 56 | 郊 | コウ | 郊外 |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 勾 | カウ | 花の匂い | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 突 | ツツ | 突き出す | 56 | 僕 | ボク | 僕ら |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 爪 | ツメ | 爪切り | 56 | 勾 | カウ | 郊外 |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 突 | ツツ | 突進 | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 爪 | ツメ | 爪先 | 56 | 郊 | コウ | 郊外 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 勾 | カウ | 花の匂い | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 突 | ツツ | 突き出す | 56 | 僕 | ボク | 僕ら |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 爪 | ツメ | 爪切り | 56 | 勾 | カウ | 郊外 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 突 | ツツ | 突進 | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 爪 | ツメ | 爪先 | 56 | 郊 | コウ | 郊外 |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 勾 | カウ | 花の匂い | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 突 | ツツ | 突き出す | 56 | 僕 | ボク | 僕ら |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 爪 | ツメ | 爪切り | 56 | 勾 | カウ | 郊外 |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 突 | ツツ | 突進 | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 爪 | ツメ | 爪先 | 56 | 郊 | コウ | 郊外 |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 勾 | カウ | 花の匂い | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 突 | ツツ | 突き出す | 56 | 僕 | ボク | 僕ら |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 爪 | ツメ | 爪切り | 56 | 勾 | カウ | 郊外 |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 突 | ツツ | 突進 | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 爪 | ツメ | 爪先 | 56 | 郊 | コウ | 郊外 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 勾 | カウ | 花の匂い | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 突 | ツツ | 突き出す | 56 | 僕 | ボク | 僕ら |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 爪 | ツメ | 爪切り | 56 | 勾 | カウ | 郊外 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 突 | ツツ | 突進 | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 爪 | ツメ | 爪先 | 56 | 郊 | コウ | 郊外 |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 勾 | カウ | 花の匂い | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 突 | ツツ | 突き出す | 56 | 僕 | ボク | 僕ら |
| 57 | 網 | アミ | 鉄道網 | 56 | 爪 | ツメ | 爪切り | 56 | 勾 | カウ | 郊外 |
| 57 | 彼 | カレ | 彼女 | 56 | 突 | ツツ | 突進 | 56 | 慢 | マン | 自慢 |
| 57 | 袋 | フクロ | 紙袋 | 56 | 爪 | ツメ | 爪先 | 56 | 郊 | コウ | 郊外 |